

停電時の使いかた……………自立運転

- ▶お知らせ◀
- 停電時でも日射があればパワーコンディショナを操作して発電電力を得られます。
 - 朝夕や雲の状態による日射に応じて自動的に運転・停止します。
 - 停電が復旧したときは運転切換スイッチを「連系」に切り換えてください。
 - 夜間の停電は連系運転にしてそのまま復帰をお待ちください。
 - 自立運転では余った電気を電力会社へ売る（売電）ことはできません。
 - 自立運転機能を使用するには、別設置（必要な場合のみ）のコンセントにて使用できます。（別途工事が必要です。詳細はお買上げの販売会社にお問い合わせください）

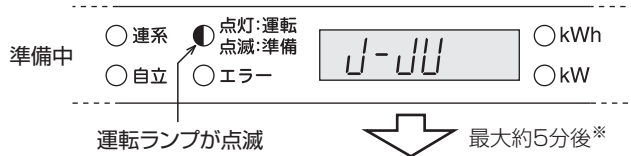
警告

- 自立運転出力用コンセント（必要な場合に別設置）と商用電源を接続しない（感電・故障の原因になります）

禁止

1 本体底面のネジ(2か所)をコインなどを使ってゆるめてスイッチカバーを手前にずらしてはらずし、運転切換スイッチを「自立」にします。

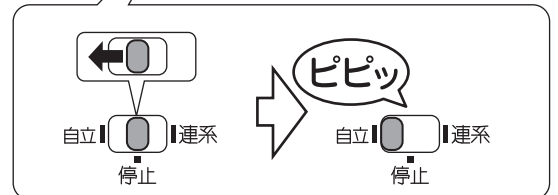
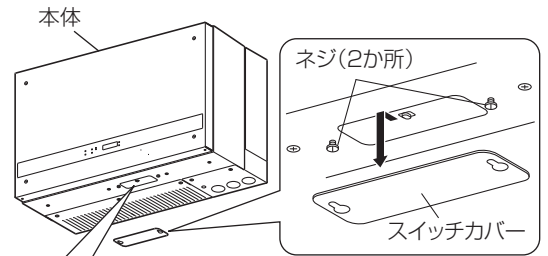
運転ランプが点滅します。



運転ランプ、自立ランプが点灯します。表示が発電中の表示に変わります。(例: 60Hzの場合) 自立運転中はブザーが"ピピッ"と10秒間隔で鳴りつづけます。



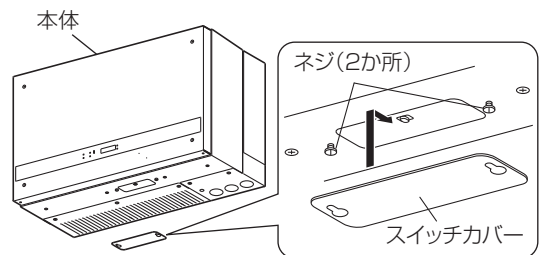
*条件により運転開始までに最大約5分間(約300秒)かかります。



*ボタンの色は視覚的に強調するため、実際に色は付いていません。

2 運転準備後、自立運転が開始されたことを確認し、本体底面にスイッチカバーをコインなどを使って元通り取り付けます。

- スイッチカバーが確実に取り付けられているか確認してください。



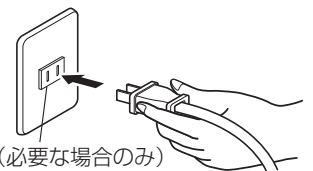
3 自立運転出力用コンセント(必要な場合に別設置)に家庭内の電気製品の電源プラグを差し込みます。

自立運転出力用コンセント(必要な場合に別設置)には100V、コンセント1か所につき最大15Aとなります。

自立運転出力用コンセントの設置場所はお買上げの販売会社にお問い合わせください。

- 2か所同時に使用する場合、コンセント2か所合計の最大出力電力はお使いになるパワーコンディショナの型式により異なります。

型式	PVS-452	PVS-554
合計最大出力電力	2.2kVA	2.7kVA



別設置(必要な場合のみ)の自立運転出力用コンセント100V、最大15A

▶お知らせ◀

- 太陽電池容量と日射条件により使用できる電力が小さくなる場合があります、電気製品の消費電力によっては使用できないことがあります。
- 運転開始時の起動電流が大きい電気製品は使用できない場合があります。

4 自立運転で電気製品を使用した後は、電源プラグを自立運転出力用コンセント(必要な場合に別設置)から抜きます。

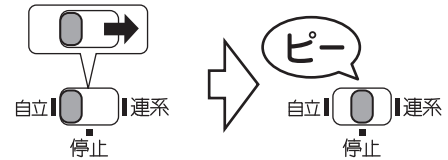
- 停電が復旧したときは運転切換スイッチを「連系」に切り換えてください。

▶お知らせ◀

自立運転では余った電気を電力会社へ売る(売電)ことはできません。

自立運転を停止する場合

1. 本体底面のネジ(2か所)をコインなどを使ってゆるめてスイッチカバーを手前にずらしてはらず、運転切換スイッチを「停止」にします。
2. スwitchカバーをコインなどを使って元通り取り付けます。



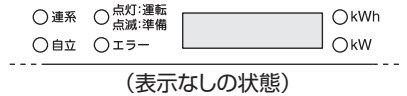
- ▶お知らせ◀ 停電復旧時には必ず「連系」に切り換えてください。
「停止」のままでは発電を取り込むことができません。

※ボタンの色は視覚的に強調するため、実際に色は付いていません。

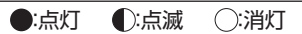
自立運転中の状態を表示とランプとブザー音でお知らせします

▶お知らせ◀

日射の少ないときや夜間のときは、パワーコンディショナの電源が切れるため、表示はすべて消灯します。



運転停止中の表示



運転切換スイッチが「停止」の状態です。(ドット表示)

自立運転中の表示

(自立運転中はブザーが"ピッピッ"と10秒間隔で鳴りつづけます)

①発電中(基本表示)



自立運転出力用コンセント(必要な場合に別設置)が使用可能です。
(例:50[Hz]の場合)

②発電中以外の表示



「自立運転」準備中です。



一時的な日射の低下か日射の減少のため、日射が回復し安定するまで待機しています。

日射が回復すれば自動的に自立運転を再開します。

▶お知らせ◀

上記以外の表示が出た場合は、「故障かな?と思ったら」P16、17をご確認ください。